

生徒指導研修 令和6年11月26日(火)

演題 これからの時代の不登校 何を支援し何を育てるのか

川崎医療福祉大学 教授 進藤 貴子 先生

【進藤 貴子 先生の御紹介】

教育学修士、臨床心理士、公認心理師

川崎医療福祉大学 医療福祉学部 臨床心理学科 学科長

附属心理・教育相談室 室長

御専門は「不登校支援」「高齢者心理学」「被害者支援」

倉敷市では不登校支援研修会のスーパーバイザーとして長年御協力
いただいています。(2006年4月～)



市内小・中・高・特別支援学校の先生方ならびに関係機関の方々が集まり、ライフパーク倉敷大ホールにて研修を実施しました。不登校児童生徒の増加への対応は現代日本の喫緊の課題であり、教育現場のみならず、広く社会において、正しい理解や適切な支援が求められています。

進藤先生には最新のデータや不登校に関する事例を多数紹介していただき、「今、何が起きているのか」「原因となっている事象はどのようなものなのか」「どう捉え、どう接していくのがよいのか」を、受講者に温かく語りかけるようにお話いただきました。また、多面的に不登校という状態を捉える「BPSモデル(生物(Bio)ー心理(Psycho)ー社会(Social)モデル)」や、見立てる上での「多軸評価」について、具体的な事例を交えて御紹介いただきました。児童生徒の状態についての理解を助ける上で有益であると感じるとともに、次の一歩となる具体的な支援方法を検討する上でも活用できるお話でした。



《受講者の感想》

- 実際に不登校を経験した大学生の事例を御紹介いただき、これからの子どもたちへの接し方について、改めて考えることができました。
- 休むことを「せっかくだから前向きにとらえる」という視点に「はっ」としました。「出席する」ということばかりを急ぐあまりに、子どもや家族を追い込んでいたかもしれないと気付かされました。
- 具体的な事例を BPS モデルに当てはめてくださったことで、とても納得ができました。不登校は様々なケースがありますが、このモデルに合わせて校内で分析し、共有することで、チームでの支援がしやすくなると思いました。
- 今、自分が関わっている児童生徒を思い浮かべながら研修を受けました。時間をかけて子どもたちの様子を見て、話をしたり、活動をしたりして、しっかりと信頼関係づくりをしていきたいと改めて感じました。
- お話の中で紹介していただいた大学生の経験談を伺いながら、「目標は幸せな大人になること」という言葉の重みを感じました。
- 「全人的な成長を目指すことが最大の不登校対策」という言葉が印象に残りました。登校できるようになることだけがゴールなのではなく、何ができるか、どうしていくのがよいのかを考え、サポートできればと思いました。
- 今をどうにかしようとむやみに焦るのではなく、長い目で見て、幸せな大人になれるよう支えていきたいと思いました。



子どもの発達を考える会 令和6年11月1日(金)

演題 通常の学級における学びの支援 授業づくりと個別の配慮の実際

星槎大学大学院 教授 阿部 利彦 先生

11月1日(金)ライフパーク倉敷大ホールにて、星槎大学大学院 教授 阿部 利彦 先生をお迎えし、保護者、福祉関係の方をはじめ、市内の保育所、幼稚園、認定こども園、倉敷市立学校の先生方に御講演をいただきました。阿部先生は、日本各地を巡って、これからの授業づくりや学級づくりについてアドバイスをされています。より多くの子どもたちを応援するために、授業づくりの工夫と個別の配慮の両輪をどのようにデザインしていけばよいか、という視点で、具体的な授業実践から、発問の仕方まで教えていただきました。「安心感」・「共感」・「集団肯定感」の3つの「感」を学びの場で育むことの大切さを知り、支援に役立つ数多くのヒントを得ることができた研修となりました。



《受講者の感想》

- ・子どもたちへの伝え方、聞き方、支援の仕方を工夫し、愛情をもって、寄り添い接していきたいと思いました。
- ・新しい考えを学び、少しでも日々の指導に生かし、より多くの子どもたちの笑顔を引き出せるようにしたいです。
- ・「みんなの力はすごい。みんなで学ぶとすごい。」と感じられる学級・学校をつくっていききたいと思いました。
- ・個々をよく理解し、職員間で共通理解しながら、みんなで関わり、支援していきたいと思いました。
- ・インクルーシブ教育、ユニバーサルデザイン等、保育園でもこれから必要となる話が聞けて良かったです。
- ・相談支援業務において、参考となるキーワードや視点をたくさん示していただき、ありがたかったです。
- ・わが子への声かけ、配慮へのヒントが多くあり、とても参考になりました。学校の先生方の工夫がとてもありがたく感じました。

初任者研修(幼小、小中の連携・接続)



第10回初任者研修では、小学校は10月31日(木)大高幼稚園に、中学校は9月26日(木)豊洲小学校にそれぞれお世話になり、幼稚園と小学校、小学校と中学校の連携・接続をテーマにした研修を実施しました。思いやりの心をもち、自分らしく、たくましく生き抜く力の育成のための円滑な連携・接続について考える貴重な学びの場となりました。



《小学校受講者の感想》

園長先生からのお話を聞き、子どもに「やってみよう！」という気持ちをもたせることが大切だと思いました。いろいろな遊びを通して思考・判断し、挑戦することができるよう、様々な場の工夫がありました。四季を味わったり行事を体験したりすることで、たくさんの経験を積み重ねることができると分かりました。教師はただ見守るだけでなく、子どもが自ら考えられるような助言や認める言葉かけをしていたので、私も取り入れていきたいです。

《中学校受講者の感想》

子どもを育てるために、地域全体で学校を支えていると感じました。幼小中の連携に力を入れ、「笑顔を増やす」ことを共通理解した上で日々取り組まれていると知りました。小学校の先生方の授業での導入の工夫や話し方、日々の学級経営など、児童が取り残されないための工夫がたくさんあり、真似をしたいと思います。

今回の研修で特に心に残っていることは、「子どもの機会を教師が奪わない。」という言葉です。子どもが何かにつまずいたとき、教師が正解を教えるのは簡単ですが、そこをぐっと我慢して子どもに考えさせることが大切だということは、幼稚園でも小学校でも大切にしたい視点だと感じました。子どもが学ぶ機会は、教師の関わり方次第なので、しっかりと意識していきたいと思いました。



児童の様子を見ていたら、互いに教え合ったり考えたりしており、学びの環境が整えられているからだと思います。授業規律を意識し、安全安心に学ぶことができるような空間をつくるのが大切だと感じました。小学校でどれだけ成長しているか、どのような指導が有効なのかを直接見ることができ、中学校でも引き継いでいくべきところがあったので、小中で情報共有をしていきたいです。



倉敷ふれあい教室の行事



倉敷ふれあい教室では、市内に5つの教室がある強みを生かして合同で体験活動を行っています。教室の仲間と協力することの大切さややり遂げた喜びを感じることを目的としています。今年度も「自然体験学習」と「スポーツ大会」を実施することができました。日々の活動の中でも、他教室や自分の教室の仲間との絆を再確認したり、自己肯定感を高めたりすることができるよう工夫を重ねています。

ふれあい自然体験学習

< 7/5(金) 倉敷市自然の家 >



【主な活動】

- じゃんけんゲーム
- フラフープリレー
- スピーカーゲーム
- 所内オリエンテーリング など

ふれあいスポーツ大会

< 9/20(金) ライフパーク倉敷 大ホール >



【主な活動】

- ラジオ体操
- O×クイズ
- スローイングビンゴ
- ふれあい宅配便リレー
- ボールおくり
- かりびと競争 など

ふれあいクラスマッチ



今年度実施のクラスマッチ課題

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 5月 『3文字しりとり』 | 6月 『牛乳パックジェンガ』 |
| 7月 『セタリレー』 | 9月 『ノールックバックボウリング』 |
| 10月 『ゴーストバスターズ』 | 11月 『つなげて！輪っか』 |
| 12月 『ペットボトルダーツ』 | |



互いに離れた教室同士でも一体感をもつことができるように、毎月、5教室共通の課題に挑戦しています。身近にあるものを活用し、シンプルかつ緊張感のある課題について楽しみながら記録を競い合っています。オンラインで各教室をつないでの中間報告・最終報告も盛り上がります。協力する中で仲間との関わり方を学んだり、目標を達成して自分に自信をもったりすることができる機会にもなっています。

ふれあい文化祭・ふれあい参観日



- 【倉敷教室】 12月 4日(水)～6日(金) 文化祭
- 【水島教室】 12月 11日(水) 参観日
- 【児島教室】 12月 6日(金) 参観日
- 【玉島教室】 12月 9日(月) 文化祭
- 【真備教室】 12月 10日(火) 参観日

「子どもたちが自ら考え、達成感を味わえるようにする」「学校の先生・保護者の方と子どもたちが関わる場を設定する」この2つの方針のもと、各教室で特色のある出し物や作品展示などを行っています。準備や練習では全員がそろう日はありませんが、登室日には協力して本番の練習や展示物の製作に取り組みました。

倉敷ふれあい教室めぐり

☆☆ 玉島教室 ☆☆

☆ 和気あいあいとした
アットホームな雰囲気です・・・

倉敷ふれあい教室玉島教室は、県立玉島商業高校の野球場の南西側にあります。1階には、学習室となかよし活動スペース、2階には、卓球やニュースポーツができる広い体育室があります。外には、ペタンクやキャッチボールなどができる広場や畑もあります。周辺には、良寛さんゆかりの円通寺、玉島港、玉島児童館、玉島図書館、玉島市民交流センターなどがあり、自然と文化施設や教育施設に恵まれた環境の中で、様々な活動に取り組んでいます。3名の指導員とアットホームな雰囲気の教室です。



【茶の湯】

一日の活動としては、みんなと一緒に取り組む「なかよし活動」と一人ひとりの進度に合わせて学習に取り組む「スタディ」の時間があります。「なかよし活動」では、創作活動、スポーツ、



【ボランティア活動】

栽培活動、科学実験、謎解きゲームなど様々な活動に取り組んでいます。また、毎月1回、図書館を訪問したり、ボランティア活動として地域の清掃をしたりしています。苦手なことがあっても、みんなと協力することで、楽しく前向きに取り組むことができます。

玉島教室は、「目標をもつ」・「自信をもつ」を合言葉に、「なかよし活動」や「スタディ」に取り組んでいます。そして、少しでも学校にチャレンジできるようになることを目指しています。

☆☆ 真備教室 ☆☆

☆ 豊かな自然と歴史、
文化に囲まれて・・・

倉敷ふれあい教室真備教室は、真備支所となりの保健福祉会館の3階にあります。近くに、井原線の吉備真備駅や真備図書館、真備陵南高等学校等があります。自然に恵まれた大変静かな環境の中、四季の移り変わりを感じながら、様々な活動をして過ごしています。

「スタディ」の時間には、各自で進度に合ったワークブックやプリントを用意し、自分のペースで根気よく学習に取り組んでいます。

「なかよし活動」では、切り絵やレジン、ウッドバーニングなどの創作活動、卓球などのスポーツ、英語（NETの先生との活動）やChromebookを使用した学習活動、栽培活動、清掃奉仕、幼稚園交流など、多岐にわたる活動を行っています。また、真備図書館へ本を借りに行ったり、まきび公園やふれあい公園へ散歩に行ったり、バスで遠足に行ったりするなど、教室の外に出掛ける活動も行っています。



【幼稚園交流】



【スポーツ】



【遠足】



【創作活動】

様々なことを体験する中で、できることを増やし、達成感を味わったり協力することの楽しさを感じたりできたら良いと考えています。そして、少しずつ自信を積み重ねて新たな一歩を踏み出せるように願って、活動に取り組んでいます。